

信州大学医学部附属病院 消化器外科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2026年3月3日

「大腸癌肝転移 Borderline resectable 症例の同定と術前/術後化学療法の有用性の検討」  
に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。  
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研  
究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5943
研究課題名	大腸癌肝転移 Borderline resectable 症例の同定と術前/術後化学療法の有用性の検討
所属(診療科等)	消化器外科
研究責任者(職名)	野竹剛(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2028年8月28日
研究の意義、目的	本研究の成果により、大腸癌肝転移に対する切除可能性分類を確立することで、同疾患に対する肝切除適応の検討決定や肝切除のタイミングの判断、治療方針決定が可能となり、大腸癌肝転移を有する患者さんの臨床に大きく貢献できることが期待されます。
対象となる方	1990年4月～2022年12月までの期間に信州大学医学部附属病院で大腸癌肝転移にたいして肝切除を受けられた方。
利用する診療記録	年齢、性別、BMI、血液検査所見(白血球数、リンパ球数、血清総タンパク、血清アルブミン、CRP、Total Bilirubin、ALP、 $\gamma$ GTP、AST、ALT、HbA1c値、CEA、CA19-9、等)、術前化学療法の有無・治療内容、術後化学療法の有無・内容、病理学的因子(原発病変、肝転移病変両者について)、無再発生存期間、全生存期間、再発に対する治療、他。
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、肝切除後の予後との関係性について検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 野竹剛(消化器外科・助教) 電話:0263-37-2654

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学

術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報を利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。